

SAMURAI MOISIL

(サムライ モイシル)

商品名の由来

庄内藩のサムライたちが松ヶ岡を開墾したことを発端に、鶴岡のシルク産業は日本有数の一大産地へと発展しました。そしてシルク産業に携わる人材を育成するため、明治 28 年に本校の前身である鶴岡町立鶴岡染織学校が開校し、その後、大正 9 年に山形県立鶴岡工業学校が誕生しました。松ヶ岡を開墾した当時のサムライたちが、国や地域、家族の将来を想い、この地域を発展させてきた「想い」に着目し、「サムライの想いを知る」の言葉にかけて、商品名を「サムライ モイシル」にしました。また「モイシル」には、このクリームの性能である「MOIST モイスト（保湿）」+「SILK シルク（絹のようになめらか）」の意味も込められています。

私たちは本校創立 100 周年をきっかけに、「シルクと鶴岡」「シルクと本校」の深い関わりや歴史を調べ、その「シルク」に着目し、山形大学国際事業化研究センター様からご助言をいただきながらシルククリームの製作を企画しました。

シルククリームの開発は株式会社高研様からご支援いただき、様々な評価試験を行うなかで、セリシンを配合させることでより優れたクリームになることを身を持って実感することができました。ネーミングやラベルデザインについては、グルー



プワークにより意見を積み重ね、高級感溢れる化粧品に仕上げる事が出来たと思います。私たちの想い、サムライの想いが込められたクリームをどうぞお使いください。

2年情報通信科 生徒代表

シルククリーム製作について

平成 31 年 2 月に山形大学国際事業化研究センターと連携協定を締結し、本校生徒が大学講師による次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）によるアイデアの創出やビジネスモデルの構築を学んでいます。その活動の一環として、本校開校のルーツである「シルク」に着目し、シルクを用いた製品を開発をすることになりました。絹糸の表面を構成する成分であるセリシンに着目し、セリシンを活用した新たな製品開発に取り組み、株式会社高研様からのご協力を得て、シルククリームの製作実習および評価試験（摩擦試験・粘着試験・粘度試験・官能試験）、そして製品化を実現することができました。このクリームは、セリシンを配合していないクリームと比較し、どの性能試験でも優れた結果を得ることができました。セリシン 1% を配合した黄沢なクリームは、ベタつきがなく、サラリと伸びの良いクリームに仕上がりました。

【全成分表】

水、ステアリン酸、プロパンジオール、コメヌカ油、グリセリン、ステアリアルアルコール、ミリスチン酸オクチルドデシル、ステアリン酸グリセリル（SE）、セリシン、フォリオタミクロスボラ多糖体、スクワラン、ラベンダー油、BG、水酸化K、メチルパラベン

【使用上の注意】

●肌に異常が生じていないかよく注意してご使用ください。●肌に合わないとき即ち次のような場合には、使用を中止してください。そのまま化粧品類の使用を続けますと、症状を悪化させることがありますので、皮膚科専門医等に相談されることをおすすめします。（１）使用中、赤み、はれ、かゆみ、刺激、色抜け（白斑等）や黒ずみ等の異常があらわれた場合（２）使用した肌に直射日光があたって上記のような異常があらわれた場合。●直射日光や高温多湿を避けて保管してください。●使用後は必ずしっかり蓋をしめてください。●乳幼児の手の届かないところに保管してください。●内容物の色や香りは天然由来の原料によるものです。経時で変化する場合がありますが、使用に影響はございません。●開封後は早めに使用してください。

